

市民意識調査の結果

◇配布数 2000通
◇回収数 1096通
◇回収率 54.8%

市民の皆さんが市政に何を求めているかを把握し、今後の参考にするため、市民意識調査を実施しました。無作為に抽出した16歳以上の男女2000人を対象に、昨年9月に調査票を郵送し、回答していただきました。結果を取りまとめた報告書を作成しましたので、その一部をお知らせします。

定住意向

●「住み続けたい」は8割半ば

昭島市に「今後とも住み続けたい」は54.8%、「どちらかというに住み続けたい」は30.7%でした。理由は、「長く住んでいる」、「便利で暮らしやすい」、「水がおいしい」、「緑が多く自然環境が良い」などでした。

また、「どちらかというに住み続けたいとは思わない」は3.0%、「住み続けたいとは思わない」は1.7%でした。理由は、「買い物や交通が不便」、「航空機騒音がうるさい」などでした。

暮らしの満足度

●暮らしに「満足している」は8割近く

現在の暮らしに「満足している」は30.8%、「やや満足している」は48.1%でした。

「満足していない」と答えた方の理由は、「暮らし向きのこと」、「生活環境のこと」、「仕事のこと」、「住まいのこと」などでした。

地域活動・生涯学習

●地域での活動は「自治会」、「スポーツ・レクリエーション」など

参加している地域活動は、「自治会などの地域貢献活動」が16.9%、「スポーツ・レクリエーション活動」が9.4%などでした。



老人クラブ大運動会

また、「していないが、機会があればしたい」が28.3%で、参加できない理由は、「活動する時間がない」が42.2%、「きっかけがない」が30.5%などでした(複数回答)。

●週に1回以上、スポーツやレクリエーションに親しんでいる方は4割半ば

スポーツやレクリエーションを「ほぼ毎日している」は16.2%、「週に1回」は28.8%、「月に1回」は8.6%、「ほとんどまたはまったくしていない」は42.9%でした。

●この1年間に芸術鑑賞を「したことがある」は4割以上

この1年間に音楽、演劇、美術などを外出して「鑑賞したことがある」は41.9%、「興味はあるが、機会がない」は20.3%、「近くで鑑賞する機会があれば、鑑賞したい」は19.6%、「興味がない」は14.1%でした。

環境

●地球温暖化防止に「取り組みたい」は8割半ば

地球温暖化防止に「できる部分があれば取り組みたい」は68.2%、「多少、生活に不自由を感じても、積極的に取り組みたい」は16.1%でした。

また、ごみ減量化のために日頃から取り組んでいることは、「買い物にはマイバッグを利用し、ワンウェイプラスチック(*)の使用を減らす」が61.9%、「小さな紙も分別して、雑誌・雑古紙として出す」が56.8%、「生ごみは水分を切ってから捨てる」が53.0%、「外出時にマイボトルを携帯する」が45.1%、「食品ロスを減らす

ため、食材は必要な分だけ購入し、食べきれぬ量だけを作る」が44.1%などでした(複数回答)。

(※一度だけ使われて廃棄されるプラスチック製品)

昭島の水道水

●深層地下水100%の昭島市の水道水をそのまま飲む方が約7割

「そのまま飲む」が69.3%、「浄水器を使っている」が15.8%、「沸かしてから飲む」が6.7%、「市販の飲料水を購入している」が6.6%などでした。



災害対策

●市がすべき災害対策は「食料・飲料水などの備蓄」が6割以上

「食料・飲料水などの備蓄」が61.5%、「正確・迅速な情報伝達」が53.9%、「避難場所・避難道路等の整備」が40.6%、「上下水道や電気等の耐震強化」が30.7%などでした(複数回答)。

なお、災害に対して日頃から備えていることは、「備蓄品(飲食品や日用品など)を備えている」が54.6%、「避難場所を確認している」が52.6%、「住宅用火災報知器の設置」が44.0%などでした。また、「何もしていない」は11.2%でした(複数回答)。

都市景観

●昭島のまちなみを「美しいと思う」は約6割

昭島のまちなみを「美しいと思う」は15.1%、「やや美しいと思う」は44.6%でした。

少子高齢化

●子育てをしやすい環境づくりに必要なことは「保育所などの施設の充実」が6割以上

子育てをしやすい環境づくりに必要なことは、「保育所、児童館、学童クラブなどの施設の充実」が63.5%、「子育ての経済的負担の軽減」が55.7%、「一時預かり・病児保育などのサービスの充実」が40.2%でした(複数回答)。



子育てひろばなしのき

●老後の不安は「健康」、「年金などの安定収入」、「介護」

老後で不安を感じることは、「健康」が30.3%、「年金などの収入が安定して得られるか」が29.3%、「介護が必要になったとき、必要な介護を受けられるか」が23.6%などでした。

また、高齢者のための施策として重要だと思うものは、多い順に、「医療制度・医療施設の充実」、「在宅介護サービスの充実」、「施設介護サービスの充実」などでした(複数回答)。

男女共同参画

●男女の立場または待遇が対等だと思うのは「教育の場」、「余暇生活」

男女の立場または待遇が対等であると答えた割合は、分野ごとに、「教育の場」が65.3%、「余暇生活」が52.5%、「地域活動の場」が51.0%、「法律や制度」が37.8%などでした。

全体としては、「男性が優遇」、「やや男性が優遇」を合わせた割合が44.4%であるのに対し、「女性が優遇」、「やや女性が優遇」を合わせた割合が8.4%と大きく下回りました。

広報

●市に関わる情報の入手方法は「広報あきしま」が8割以上

市に関わる情報の入手方法は、「広報あきしま」が83.4%、「昭島市公式ホームページ」が34.8%、「あきしま市議会だより」が26.0%、「家族や友人、近所の人のお話」が21.4%、「自治会などの回覧板」が20.4%などでした(複数回答)。

デジタル化

●インターネットの利用状況

昭島市が提供するインターネットによるサービスで、今後利用したいものは、「昭島市公式ホームページ」が24.6%、「昭島市ごみ分別アプリ」が19.2%、「Yahoo!防災速報」が15.5%、「コンビニ交付サービス」が13.2%などでした(複数回答)。

また、昭島市のデジタル化施策として優先して行うべき取り組みについては、「災害発生時における避難所運営状況確認サービスの導入」が49.1%、「オンラインでの申請・相談・キャッシュレス決済の導入」が44.8%、「市内の診療科目別病院・診療所の検索・予約サービスの導入」が42.9%、「通学路の危険箇所や防犯情報の可視化サービスの導入」が26.5%、「高齢者や障害者に対するデジタル化の支援」が22.8%でした。

市政・市役所

●昭島の魅力は「深層地下水100%の水道水」が8割以上

昭島の良さとして何を伝えるかについては、「深層地下水100%の水道水」が83.5%、「水や緑といった自然環境に恵まれている」が37.2%、「景観(まちなみ)や住環境がよい(住みやすい)」が30.2%などでした(複数回答)。

●住んでみたい、訪れてみたいと思うまちづくりのためには、市外の方から「住んでみたい、

訪れてみたい」と思っていただけで、今後5年間で重点的にすすめていくべき施策は、「防犯・防災対策の充実」が43.1%、「水や緑など、自然環境の保全」が33.4%、「高齢化社会への対応、高齢者福祉の充実」が32.1%、「幼児教育・学校教育など、教育環境の充実」が27.1%、「児童福祉、子育て支援の充実」が20.0%などでした(複数回答)。

●市民の声を「反映している」は2割以上

市政は市民の声を反映しているかについて、「反映している」は21.4%、「反映していない」は23.9%でした。

また、どのように市政に関わっていきたいかについては、「市による各種アンケート」が63.2%、「各種ボランティア活動」が19.5%、「市長への手紙など」が14.0%などでした(複数回答)。

●市役所の窓口サービス

市役所の窓口サービスは、「良い」が22.3%、「まあまあである」が24.0%、「悪い」が5.3%でした。

なお、「悪い」と感じた理由は、「職員の態度や言葉づかいが悪かった」が36.2%、「時間がかかった」が17.2%、「職員の説明などがわかりづらかった」が12.1%、「一つの窓口で用が済まなかった」と「どの窓口かわからなかった」が8.6%などでした。

調査にご協力いただいた市民の皆さん、ありがとうございました。

結果を取りまとめた報告書は、市役所2階行政資料コーナーなど市の施設でご覧いただけるほか、市ホームページに掲載しています。
☆詳しくは、広聴担当へ。

市ホームページ内の市民意識調査のページは、こちらから▶

